

オーストラリア金融政策（2019年10月）

3会合ぶりの利下げ

2019年10月1日

必要あればさらなる利下げも

2019年10月1日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は市場予想通り政策金利を1.00%から0.75%に引き下げることを発表しました。RBAは6月と7月に連続で利下げを実施した後、8月と9月は据え置いていました。

RBAは今回の利下げに至った理由について、雇用の拡大と賃金の上昇を支援し中期的な物価目標を達成するという自信を深めるためだと説明しています。また、今後の金融政策方針については、前回の「必要であればさらに金融緩和を行う」から「必要であればさらに金融緩和を行う準備がある」に表現を弱めています。現時点では次回会合での連続利下げは想定していないものの、市場環境の変化に柔軟な対応を取れるよう配慮したと思われる。

国内経済においては、住宅市場に改善の兆しが見られる中、引き続き労働市場の動向が今後の金融政策を左右することになりそうです。RBAは、賃金の伸びが依然として弱く、労働需要の増加が供給の増加によって満たされており、現在のところ賃金の上昇圧力は乏しいと説明しています。また、労働需要に関する先行指標は、最近まで強かった雇用の伸びが鈍化することを示唆しているとも述べています。外部環境についても、各国の中央銀行が緩和姿勢を維持しており、しばらくは低金利環境が継続しそうです。

オーストラリアの平均賃金の伸びと失業率

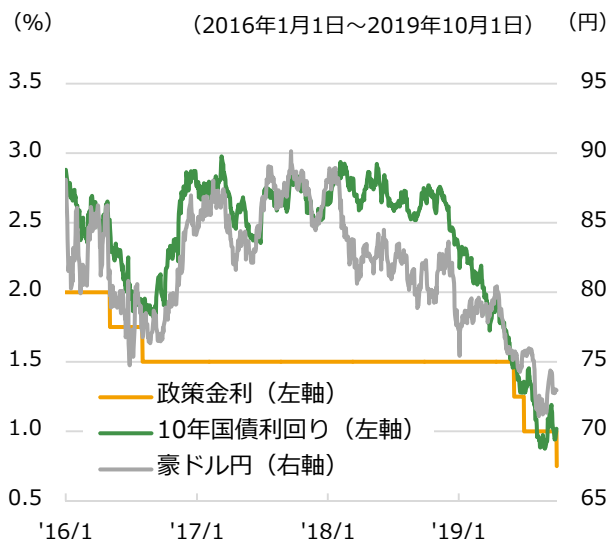
（平均賃金の伸び：2008年1-3月期～2019年4-6月期）
（失業率：2008年1月～2019年8月）



（出所）オーストラリア統計局

オーストラリアの金利と為替

（2016年1月1日～2019年10月1日）



※政策金利は決定日ベース
※10年国債利回りと豪ドル円は9月30日までのデータ

（出所）ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。